土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　令和2年度　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量・設計業務委託乐谷川

事業名 または 工事名　令和2年度　砂防激甚災害対策特別緊急事業

調査目的及び調査対象　砂防 橋梁・高架

ボーリング名	Bor. No. 3	**調査位置**	広島県呉市安浦町中畑					**北緯**	34° 18′ 16.3876″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2020年 12月 16日 ～ 2020年 12月 21日			**東経**	132° 42′ 24.3709″
調査業者名		**管理技術者**		**照査技術者**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. +176.34m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 18°	**使用機種**	**試錐機** 東邦地下工機DO-D
総削孔長	14.00m								**エンジン** ヤンマーTF90M　**ポンプ** 東邦地下工機BG-4

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定日
	176.44	0.90		盛土		淡褐				粘性土及び転石を含む三石混じり砂礫。	
1	174.69	1.65		表土		黒褐		軟い		厚さ0.50m程度の角礫を含む粘性土。粘性大。	
2				三石混じり砂礫		褐灰	非常にゆるい			全体にL=5～24cm転石を含む。転石は、B=0.15m以内が大部分。礫間は砂礫で充填され、礫同士は密着していない。礫間充填物は粘土化している。粘土部分は吸水で膨張し易い。粘土部分は吸水で崩壊し易い。 ・GL-6.05～9.90m区間は密着している。	2/22 8.40
10	166.19	10.15									
11				粘性土混じり砂礫		暗褐灰～暗青灰				GL-10.15～12.40mは硬い～中硬ロック。 GL-12.40～14.00mは軟い～粘土状ロック。 ・GL-10.15～12.40m間は色変化し、緩く回転しながら、粘土でボーリングは可能。 ・GL-12.40～14.00m間は色変化し、粘土、礫混じり粘土。 吸水で崩壊しやすい。上部は可能。全体に@2～20mの厚さがある。間隔1.50以上。	
14	162.34	14.00									

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

打撃	深度	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	0.45	4	5	3	5/30		
37	2.39	10	9	10	30/30		
67	4.35	6	7	35/31	30/30	230	
214	5.47	50/15			50/15	70	
375	6.59	50/16			50/16	40	
69	7.59	22	23	5/30	50/30	230	
71	8.59	25	22	3/1	50/30	210	
14	9.59	14	20	10	44/30		
168	10.61	50/16			50/16	80	
	11.63	貫入不能			50/0		
375	12.64	50/16			50/16	40	
250	13.67	50/16			50/16	60	
375	14.69	50/16			50/16	40	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					12/16
					12/17
					12/18
					12/19